



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2025年 4月23日

企業・団体名 西日本電信電話株式会社

代表者名 富山支店長 東山 真也

富山県SDGs宣言において宣言した取組の実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日

2 取組の実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】あらゆるモノや人がつながるIoT、AI、ビッグデータ社会において、生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、高品質で災害やサイバー攻撃にも強いサービスの提供により、安心・安全な地域社会づくりに貢献します。 【実施状況】 ・災害対策基本法に基づく指定公共機関として、防災に関して取るべき措置を定め、円滑かつ適切な災害対策を遂行するために「NTTグループ防災業務計画」を定めるとともに、災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施に向けた総合防災訓練を行政や自治体、電力会社や海上保安庁と連携を図り実施しました。また、自治体と連携した特設公衆電話の設置拡大に取り組みしました。 ・ICT技術を用いた社会インフラ維持の取り組みとして、ドローン・MMS(Mobile Mapping System)を用いたインフラ設備の共同点検、立合WEBシステムによる道路掘削工事受付の一元化などを自治体(上下水道)、電力、ガス会社等へ提案、導入させていただき、社会インフラの老朽化・点検技術者の不足といった社会課題の解決に取り組みました。 ・NTT西日本グループ内への対応で培ったスキル・ノウハウを強みとして、自治体や金融機関等の多くのお客さまに対するセキュリティオペレーション等の機能提供を通じ、お客さまの安心・安全なシステム利用を支援してきました。
2	【目標】社会の持続的発展のため、社会の課題解決に向けたさまざまなソリューション、それを支える光サービスの拡大等を通じ、イノベーションを創出し、豊かな社会づくりに貢献します。 【実施状況】 ・地域活性化活動として、各府県にてそれぞれの地域の事情に沿った地域創生の取組を強化しました。 ・パートナー企業等と連携し、富山の海産物を米国に輸出するための実証実験を実施しました。 ・安心安全な魚食を守りつつ、天然魚の乱獲を防ぐため、富山県内への陸上養殖の誘致活動を進めています。
3	【目標】自らの環境負荷の抑制に努めるとともに、ICTの提供を通じて、地球規模での環境問題の解決に努め、環境と共生した社会づくり、また、富山の将来を担う子どもたちの支援活動を通じた豊かな社会づくりに貢献します。 【実施状況】 ・社用車を年間で3台(ガソリン車)廃止し、15台のEV化を実施しました。 ・環境保全の取り組みとして、東田地方ビル、不二越ビル、桜橋ビル、高岡ビルの周辺清掃を年7回実施しました。併せて、東田地方ビル前の「いたち川公園植樹樹」を整備し、黄花コスモスやマリーゴールドの植栽を実施しました。 ・紙使用量の削減に向けた取り組みでは、社内ですべての紙使用量(印刷枚数)を定期的に共有し、紙購入量を2023年度比で約20%削減しました。(2020年度比では約56%削減) ・こども支援の取り組みでは、今年度も社員から募金を募り、県内3つの児童養護施設を訪問しクリスマスプレゼントの寄贈、および社員が各家庭より持ち寄った食品や文房具などを県内6つのこども食堂に寄贈する活動を実施しました。また、新たな取り組みとして、社内に寄付型自動販売機を設置するとともに、「こども食堂応援弁当」の販売を始めました。

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。